



北相馬郡  
と ね まち  
**利根町**

面積：24.90km<sup>2</sup>  
(平成7年10月1日現在)

人口：19,991人  
男：9,721人  
女：10,270人  
世帯数：5,607世帯  
(平成8年9月1日現在)

町の花  
カンナ  
町の木  
サクラ  
町の鳥  
ヨシキリ



利根町は茨城県の最南端、都心から40km圏内に位置します。昭和40年代後半から住宅開発が相次ぎ、東京のベッドタウンとして、住宅都市に成長してきました。また、町名にあるように「利根川」の豊かな水源に接しており、町の大部分を占める水田地帯はその恩恵を受けて農業の町としても発展してきたのです。

利根町は日本民俗学の父と呼ばれる柳田国男<sup>かつら</sup>の町でもあります。体の弱かった国男は13歳のとき生まれ故郷を離れ、この利根町で医院を開業していた実兄のもとで2年余りを過ごしました。国男は逗留先の土蔵にあった多くの蔵書を読みあさるとともに、この地で様々な体験をしたのです。このことが後の「遠野物語」へとつながり、「日本民俗学」誕生のきっかけになったといわれています。

毎年5月には、ふるさと創生事業で建てられた「柳田国男記念公苑」において、国男に縁の深い全国9市区町村が一同に会する「柳田国男フェスティバル」が盛大に開催されます。期間中、資料館ではふだんは見ることのできない貴重な資料の公開を行っており、町民はもとより近隣からの見学者でにぎわいます。

《利根町企画課》

課長	よし	はま	しょう	いち
	吉	濱	昇	一
係長	さか	がみ	まさ	ひろ
	坂	上	雅	弘
主幹	なか	やま	ゆう	こ
	中	山	裕	子



柳田国男記念公苑にて  
左：吉濱課長，中：坂上係長，右：中山主幹

——利根町でおすすめの場所は。

吉濱：利根川と小貝川との合流地点の堤防沿いからのながめは最高です。夏、川面に夕陽の落ちる光景はすばらしく我々の自慢です。

——課の雰囲気はいかがですか。

中山：仕事中でも、仕事が終わってからも、みんなとてもにぎやかです。

坂上：課長の号令のもと、月に一度飲みに行きます。有志は週1です(笑)。

——皆さんの趣味は。

坂上：カメラ。スポーツイベントを主に撮影します。先日も鈴鹿でF1を撮ってきました。オートバイの8耐にも魅力を感じます。

中山：ドライブ。愛車を駆って仕事の帰りに1時間ほど運転します。

吉濱：ゴルフをはじめて15年ほどになります。最近はずいぶん以前ほどラウンドができませんね。

——ほっとするときは。

中山：お風呂。湯ぶねにつかって一日の疲れをときほぐすと安心します。

坂上：酒をたしなむとき。肴は焼魚が一番です。  
吉濱：家族みんなで食事をするとき。もちろん晩酌も楽しめます。

——かつて熱中したものは。

吉濱：ボーリング。「ボーリング場あらし」と呼ばれてました(笑)。中山律子プロに挑戦したこともあるんですよ。

中山：中学生のとき、バスケット部でした。朝早くから夜遅くまで頑張った記憶があります。

坂上：ベーゴマ。ライバルに勝つために、ヤスリすりです。手は真っ黒でした。いい思い出です。